

3 情報発信（シンポジウム資料）

1) 漁港漁村の活性化基本構想

漁港漁村における交流の推進に向けた基本構想（案）

【1】

1 全体像

(1) 本構想策定のねらいとターゲット

1. 本構想策定のねらい

- ・漁業・水産業が基幹産業である漁村地域は、本来的には漁業・水産業の振興として水産物の生産、加工、流通・販売により経済的な活性化を図ることが第一義です。
- ・本構想では交流により経済的な活性化を図り、またそれらにより高齢化や人口減少が進む地域への人口流入や、地域住民による地域の価値を再認識し、愛着を向上させるなどの社会的な効果にも着目するものです。

2. ターゲット

- ・漁港漁村での交流を推進している（推進していきたい）方
- ・特に水産業全般の従事者（漁業者、漁業協同組合職員、水産加工・流通事業者、運輸業、製氷・製函業など）
- ・自治体職員
- ・観光関連事業者、団体 など

(2) 本構想で想定する取り組みの枠組み

1. 漁村地域での交流事業実施の目的

- ①漁港漁村での水産物販売による売上
- ②水産業への理解創出
- ③地域の知名度、水産物のブランド力向上
- ④交流事業の収入による経営基盤の補強
- ⑤担い手の確保、定住人口・関係人口の確保

2. 漁業・水産業関係者の関わり方

- ①漁業者グループが主導
- ②漁協が主導
- ③観光・地域づくりプラットフォームが主導し、漁業者、漁協が協力
- ④民間事業者が主導し、漁業者、漁協が協力

(3) 本構想の全体像

交流の推進主体と取り組み内容

- ◆地域全体の将来像を描く/戦略を立てる
- ◆取り組みメンバーを集める/推進体制をつくる
- ◆考えを実践する/継続を意識する/地域の問題解決に取り組む

新たな交流のかたち

- (1) 安全・安心のニーズに対応したコンテンツ
- (2) マイクロツーリズム
- (3) ワークेशन
- (4) バーチャルツアー

持続可能な地域づくりに向けて

- (1) 社会経済の持続可能性
- (2) 文化的持続可能性
- (3) 地域の自然環境の持続可能性

漁港漁村における交流の推進に向けた基本構想（案）

【2】

2 交流の推進主体と取り組み内容

地域の実情に即した将来を描くことや、推進体制の構築、実践・継続・地域の問題解決といったポイントについて以下整理します。漁業者・漁協、水産業関係者での実施例に対して、地域の観光推進組織との連携により、さらに効果的に展開している例があります。

漁業者・漁協、水産業関係による実施例

- ・漁業・水産業を基幹産業とした地域の将来像を描きます。
- ・地域での交流の目的を明確化します。（水産物の販売、理解創出、担い手確保など）
- ・解決すべき地域の課題、顧客ターゲットの設定などを整理します。

交流の実施をきっかけに地域の方々が集まり、外部の知恵も入れて、地域の漁業を維持すること、地域の将来像を考える。

地域の観光推進組織と連携することで実現する、さらに効果的な展開例

- ・多くの関係者との将来像・戦略検討にあたり、各主体での交流の目的を話し合い、共有します。

震災復興にあたり水産に加えた第二の産業の柱としての観光に着目した例では、行政や観光関係者、事業者など多くの関係者による戦略構築。

地域全体の将来像を描く
戦略を立てる

漁港漁村における交流の推進に向けた基本構想（案）

【3】

2 交流の推進主体と取り組み内容

推進体制をいっく

漁業者・漁協、水産業関係による実施例

- ・ 取り組みメンバーでの役割分担を考えます。（企画・調整や情報収集・窓口・広報などを担う事務局、ガイドやサービス提供を行う方々など）
- ・ 地域の実情に応じた組織構成により、まずは実践しやすい体制、継続できる体制を考えます。

漁港漁村での交流は、漁業者や漁協だけでなく、水産加工、製氷、製函、漁具、仲卸などの流通といった漁業水産業に関わるあらゆる主体の関わりによって、地域の価値として評価される。

地元漁師や飲食、水産加工、神社の宮司など思いを共有できるメンバーが核となりスピード感ある取り組みの推進を図ることがポイント。

実需者（宿泊や飲食事業者）が窓口・交流商品の販売等を担うコンパクトな運営体制を選択。

地域の観光推進組織と連携することで実現する、さらに効果的な展開例

- ・ 地域のより多くの主体が関わる組織として、農業や商業、教育などとも連携した取り組みになります。
- ・ DMO（観光地域づくり組織）ではマーケティングやマネジメントを担当する人材を配し、より効果的な取り組み推進を図ります。

行政、観光協会、商工会など多くの組織が関わる観光事業において、商品造成、販売、広告宣伝、予約問い合わせ等の窓口など明確な役割分担が必要です。DMO（観光地域づくり組織）によるマーケティングとマネジメントを担うことも考えられる。

漁港漁村における交流の推進に向けた基本構想（案）

【4】

2 交流の推進主体と取り組み内容

地域の課題解決に取り組む

考えを実践する
継続を意識する

漁業者・漁協、水産業関係による実施例

- ・ まずは実践、そして継続を意識する。
- ・ 地域に今ある問題を交流により解決することを目指します。
- ・ 地域外と連携することで、事業の拡大や効率性を高めることが期待できます。

まずは考えを実践し、それを継続する。そのために各種事業、公的資金も活用する。

観光・交流の枠組みを超え、歴史文化、環境保全、地域外の企業、大学などの多様な主体の関わりにより取り組みの幅を広げることが有効。

地先での水上バイクの運行の問題解決と、漁協で水上バイク艇庫を整備し利用料徴収。利用者側の自主ルールの設定も。

漁村のフィールドに関わりたい企業や学校との連携により、ワーケーションやインターンなどの新たな動き、地域での人の流入を促進。

地域の観光推進組織と連携することで実現する、さらに効果的な展開例

- ・ 地域に一元化したマーケティングやマネジメント機能があることで、地域内の合意形成、顧客との関係づくりが円滑に進められます。

会員制のポイントカード導入は、地元住民を始め、地元出身者や観光客など地域に愛着を持ったファンたちによる消費の拡大に貢献している。また、顧客データの収集ができることから、効果的なマーケティング活動の検討と実行に活かせる。

体系的なマーケティングデータの収集ができることで、事業推進の根拠となり、複数の利害関係者間での合意形成が円滑になった。

3 新たな交流のかたち

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、都道府県をまたぐ移動の自粛要請や、いわゆる3密の回避など、感染予防への意識が高まるなか、全国的に観光推進や地域づくりにおいて新しい取り組みの推進が進められています。

（1）安全・安心のニーズに対応したコンテンツ

今般の感染症への対策への意識の高まりから、安全で安心して体験できるコンテンツが求められています。台風や地震、事故に対する安全管理についても引き続き取り組むことが重要です。

感染リスクの低い屋外で完結できる体験を造成。屋外での漁業体験、密になりにくいキャンプは漁港漁村でも人気のコンテンツ。



地曳網体験。屋外でのコンテンツのニーズが高まっています。

（2）マイクロツーリズム

飛行機や新幹線などを使った長距離旅行ではなく、地元の方が近場で旅を楽しむ近隣地域滞在型旅行が注目されています。改めて地域の魅力再発見してもらえるような提案をすることで、新たなファン層の拡大が期待できます。

地域（市民および県内客）に注力した企画の実施や、地域の子供たちに向けた教育・学習の場を提供。

3 新たな交流のかたち

（3）ワーケーション

新型コロナウイルス感染症の流行やテレワーク等による働き方の多様化を踏まえ、リゾート地・温泉地等で余暇を楽しみつつ仕事を行う旅行スタイルが注目されています。地域と企業との連携や、地域のファンとの継続的なつながりをつくることにつながることが期待できます。

企業における人材研修や新規事業検証のためのフィールドとして、協力連携することにより誘客・誘致を推進。



テレワークで利用できるコワーキングスペースは、各地につくられています。

（4）バーチャルツアー

近年、観光の分野においてもデジタル技術の導入が推進・検討されています。作業の省力化や、技術と観光資源の掛け合わせによる相乗効果を生み出し、これまでにない観光を実現することが期待されています。

仮想体験として遠方から地域の魅力を体験するツアーや、都会の子どもたち向けのオンライン授業を実施。



現場にいなくても仮想体験できるバーチャルツアーの参加画面イメージ。

4 持続可能な地域づくりに向けて

漁港漁村における交流において、地域の漁業・水産業を中心とした地域の経済活動を持続すること、漁獲を維持するために海・山・川・まちの環境を守り、生業としての漁業・水産業の支えてきた地域の生活・歴史・文化を守ることが重要です。交流は、地域における漁業や水産業の価値を高めるだけでなく、自然環境や暮らし、文化、歴史の保全に貢献することも期待できます。

（１）社会経済の持続可能性

基幹産業としての漁業・水産業を維持・振興する視点として、交流により地域の水産物の適正な価格での販売、周辺産業への収益につなげる取り組みが行われています。

直売による地域内消費

- ・漁業者による消費者への直接販売の仕組みが定着。地元的一般客や周辺地域からの来訪者、観光客の他、飲食店の方の買い付けも多く、地域の飲食店が仕入れて訪れることも多く、コロナ禍での売上も安定。



直売市のイメージ

地域内の事業者への波及

- ・漁業者・漁協に加えて水産加工、製氷、製函、漁具、仲卸など流通など漁業水産業に関わる多くの主体が積極的に関与することで、漁業および漁業を支える多様な産業への理解も深まるなどの波及。



製氷業の現場体験

4 持続可能な地域づくりに向けて

（２）文化的持続可能性

地域の生活や歴史・文化を守る視点として、交流によりこれらの価値を正しく認識し、守り、活かす取り組みが行われています。

観光ボランティアによる歴史・文化の継承

- ・漁協や漁業者との協働により、地域の漁業の歴史や文化を掘り下げ、住民によるボランティア観光ガイドにより伝承。地域の歴史的・文化的なストーリーや価値に対する関心・理解の向上に寄与。



観光ボランティアによるガイドツアー

空き家の活用・かつての地域の暮らし・文化を継承

- ・地域の空き家を活用して関係人口誘客を促進。地域の生活環境を整え、るとともに昔の祭りを復活させるなどの活動も展開し、地域住民自身も地域での暮らしや文化を維持していくことの重要性を改めて認識。



地域のお祭りイメージ

4 持続可能な地域づくりに向けて

（3）地域の自然環境の持続可能性

地域の海や山、川などの自然環境を「守る・伝える・活かす」活動を交流を通じて実現する取り組みが行われています。

景観美化と海洋ごみ問題へのアクション

- ・クリーンオルレとして、来訪者による浜辺や遊歩道のゴミ拾い活動を実施。地域の魅力ある風景を楽しみながら散策するだけでなく、美しい風景を維持するために、来訪者自身も環境保全に貢献。



海岸清掃のイメージ

環境改善への資金確保

- ・世界遺産宗像大社の祭事の参加ができる特別な体験を提供する高価格帯のツアーを造成。その収益の一部を、海を守る活動や地域の伝統的な文化を維持するための活動資金に還元。



祭事のイメージ

2) 一般社団法人気仙沼地域戦略



自己紹介／名前：小松 志大（こまつ もとお）

(一社) 気仙沼地域戦略 理事・事務局長

【経歴】

- ✓ IT企業で調達・物流、経営管理コンサルタントとして従事
- ✓ 2013年から（公社）経済同友会の「東北未来創造イニシアティブ」に参画。気仙沼市を拠点に、地域リーダーの育成、地域資源発の新規事業創出、DMO地域経営の仕組みづくりに取り組む
- ✓ 2017年気仙沼市役所に入庁
- ✓ 2020年4月から現職
- ✓ 中小企業診断士（経済産業大臣登録）の資格を保有



気仙沼市出身
45歳

気仙沼市の概要

3

気仙沼市の紹介

宮城県気仙沼市

- 人口 6.14万人 (2021年3月1日)
- 水産業が中心産業
(全国13の特定第三種漁港のひとつ)
- サメ、メカジキの水揚げ日本一
- 生鮮カツオ水揚げ24年連続日本一
- サンマも全国有数の水揚げ高



さめ (フカヒレ)

全国シェア：77%



めかじき (生)

全国シェア：74%



かつお (生)

全国シェア：54%



さんま

全国シェア：13%

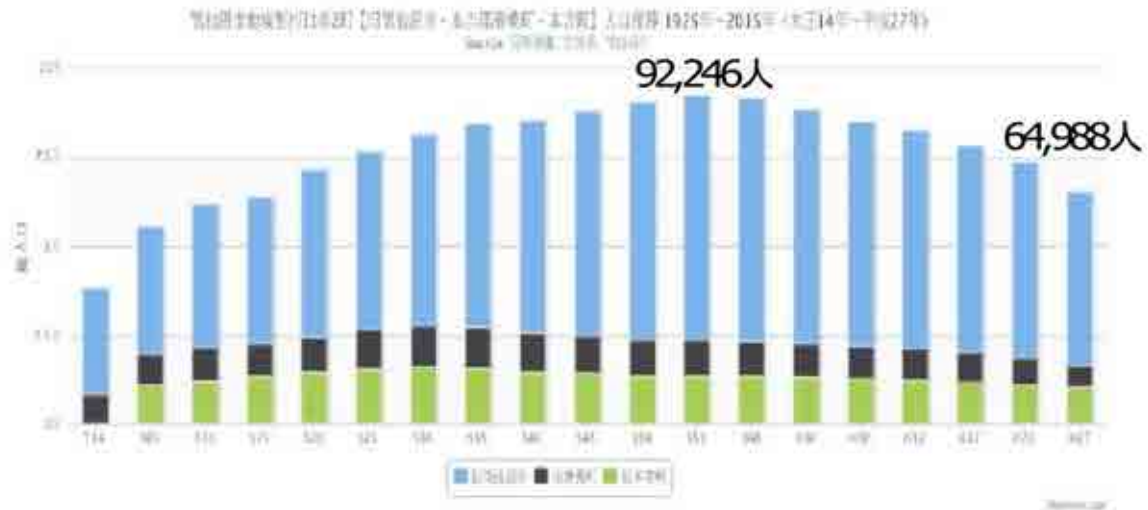


(出所) 水産庁「水産物流通調査」(2010年)をベースに、わかめ、おきあみ類、かき(殻付き)は「海面漁業生産統計調査」(2010年)の生産量を追記して作成。

4

気仙沼市の人口

✓ 昭和55年の92,246人をピークに、平成27年までの35年間で約30%減少。



5

東日本大震災による被災の状況

津波浸水割合は5%だが、80%の事業所、従業員が集中していて大きな被害を受けた

人的被害

- 死者数 : 1,043人(警察発表)
 - 行方不明者数 : 214人(警察発表)
 - 震災関連死 : 109人(現在値)
- H23.2末
人口比約1.8%

住宅被害

- 被災家屋 : 26,124棟 (被災割合40.9%)
全壊 : 16,459 大規模半壊 : 2,307
半壊 : 1,893 一部損壊 : 5,465
 - 被災者生活再建支援金支給者数 : 8,137件
内加算支援金申請件数 : 4,884件 (60.0%)
- ※平成31年1月末現在

産業被害

- 被災事業所数 : 3,672事業所 (被災割合79.9%)
 - 被災従業員数 : 27,736人 (被災割合82.5%)
- ※いずれも概数



浸水割合 : 市面積の5.6%

6

なぜ気仙沼がDMOに取り組んでいるのか？



7

観光の産業化を目指す背景

2011年9月：気仙沼市震災復興計画の重点事業に掲げる

2012年3月：気仙沼市観光戦略会議を設置

2013年3月：気仙沼市観光に関する戦略的方策の策定

戦略1：気仙沼ならではのオンリーワンコンテンツを活用した誘客戦略

戦略2：水産業と観光産業の連携・融合による新たな付加価値創造戦略

2013年7月：その中核的組織として
(一社)リアス観光創造プラットフォーム設立

2017年4月：DMOの本格的構築の検討と具現化

気仙沼観光推進機構の設立

(一社)気仙沼地域戦略の設立

8

気仙沼の取組で大事にしてきたこと



まち全体がくらしと仕事のテーマパーク



観光チーム気仙沼の取り組みから水産業の商品開発を進めた

主体	内容(例)	写真	主体	内容	写真
漁具屋潜入	漁具倉庫見学・実際の漁業体験など		造船所潜入	造船行程の見学・船内見学など	
氷屋潜入	氷屋の製造、砕氷、保存工程の見学など		函屋体験	函屋倉庫見学、函持ち体験など	
水産加工場潜入	加工場見学・カツオの解体ショーなど		魚市場裏側潜入	遠洋漁業の基地、気仙沼魚市場の見学など(休場日も含む)	

11

ご当地グルメの開発

気仙沼特産の「メカジキ」を活用した「メカしゃぶ」「メカすき」を市内飲食店11店舗と開発。



12

動画参照

https://www.youtube.com/watch?v=0biNJiT1_zw

【生鮮メカジキ魚価】

平成30年度(11月30日現在)平均単価: **1,192円**



平成26年度平均単価 : **562円**

13

気仙沼の取組で大事にしてきたこと



14

市民観光意識醸成

市民自らで気仙沼の魅力の再発見していく「ば！ば！ば！の場」を定期的
に開催し、観光意識を醸成。



地域の魅力を再発見する。



地域にとって大事なこと



17



稼ぐ地域経営の仕組み

18

地域の現状

観光における各業務の**役割分担が不明確でモレ、ダブリ**が存在。それぞれがそれぞれの業務を個別で行っている。

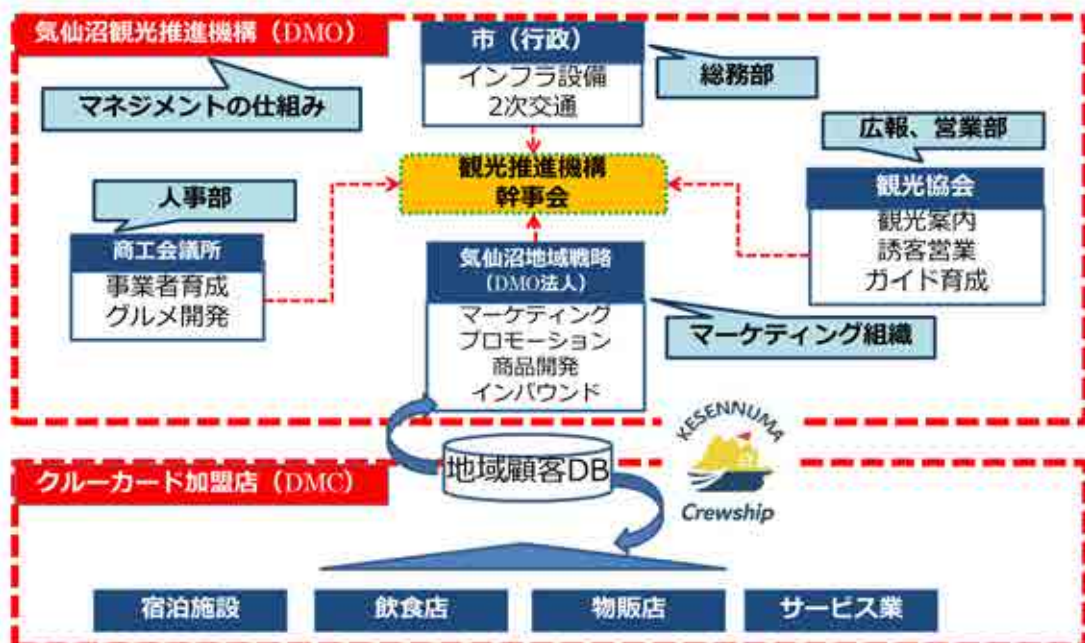


19

気仙沼版DMOの仕組み



官民が連携して役割分担することで、地域経営の仕組みを構築



20

【役割分担による組織連携の一例】

気仙沼観光情報の一元化（観光ポータル化）「気仙沼さ来てけらいん」

組織横断で地域内共通のIDを発行し、それぞれの役割に応じて地域情報を管理する

<http://kesennuma-kanko.jp/>

（各組織の主な役割）

①気仙沼市

- ・観光スポット情報の更新
- ・モデルコース情報の更新

②気仙沼観光コンベンション協会

- ・イベント情報の更新
- ・ツアー造成とその情報更新

③気仙沼商工会議所

- ・飲食店情報の更新

④気仙沼地域戦略

- ・特集ページの更新
- ・その他Webページ全体の管理に必要な更新

⑤全組織横断で行う役割

- ・開催している体験ページの更新
- ・観光活動団体の情報更新



23

宿泊者数の推移



✓ 震災後、復興関連の宿泊、ここ数年は「観光・ビジネス客」が増えている

気仙沼市宿泊者数推移



2019年気仙沼観光マーケティングレポートより

24



3) 宗像鯨の会



地元宗像の鐘崎(漁師の町)
にて環境・観光地域づくり推進組織

『宗像 鯨の会』立ち上げ

中学同級生 漁師、遊漁船、飲食店経営者、大社宮司など



鯨の会の設立目的

1. 世界遺産登録をきっかけに鐘崎・大島の漁村にインバウンドを始め、漁村交流を推進する。

・・・ムラたびカレッジ開催、インバンドモニター体験、海外旅行会社商談会の実施

2. 漁師が営む飲食店、加工会社、宿泊施設を新たに立ち上げる。

・・・食材となる魚の調達方法の実践型研修の実施など

3. 地域おこし協力隊の海女さんが地域で暮らせる仕組みを支援する。

・・・海藻ビジネス調査、海藻おしほインストラクター取得、海女ヨガなど



インバウンドモニター体験 中国上海



フランスでの魚拓体験、旅行会社商談会、視察研修会



漁師民泊体験、文化体験



海藻押し葉体験



地域おこし協力隊 海女さん



地域おこし協力隊 海女さん



地域おこし協力隊 海女さん



世界遺産・宗像大社 スピリチュアルツアー 神道プラン



世界遺産・宗像大社 スピリチュアルツアー 神道プラン



世界遺産・宗像大社 スピリチュアルツアー 神道プラン



世界遺産・宗像大社 スピリチュアルツアー 神道プラン



世界遺産・宗像大社 スピリチュアルツアー 神道プラン



世界遺産・宗像大社 スピリチュアルツアー 神道プラン



世界遺産・宗像大社 スピリチュアルツアー 海幸山幸プラン



海幸山幸プラン オプション 浜買いランチプラン



海幸山幸プラン オプション 浜買いランチプラン



海幸山幸プラン オプション 浜買いランチプラン



海幸山幸プラン オプション 浜買いランチプラン



エコツーリズム インタープリター養成講座



エコツーリズム インタープリター養成講座



